

宮崎県漁協青壮年部連絡協議会 会長 中野 利勝



新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、会員の皆様を初め、関係団体や行政の皆様方には多大なるご協力、ご高配を賜り誠にありがとうございました。

書面をお借りしお礼申し上げます。

本年もより一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。

さて、我々漁青連は、会員相互の連絡調整を図り、漁協・関係団体と提携して会員の組織活動強化を促進し、県内水産業の発展と漁村文化の向上に寄与することを目的に活動を行っております。ここ2カ年は新型コロナウイルス感染症防止の観点から活動できなかったものの、昨年は宮崎県青年・女性漁業者交流大会や九州地区漁青連会長会議、本年は全国青年・女性漁業者交流大会を予定しており、徐々に活動がコロナ禍以前に戻りつつあります。

我が国水産業界では、新型コロナウイルス感染症が依然猛威を振るい、外食産業の市場が縮小し、生鮮魚介類を扱う小売店の取扱も減少したことに加え、ウクライナ等の国際情勢による急激な燃油の高騰が追い打ちをかけ、多くの漁業者が操業を制限せざるを得ない状況になり、漁家経営に深刻な影響が発生しました。

そのような状況の中、国による影響緩和策等が打ち出され、感染防止対策や販路回復・開拓、経営継続のための取組が行われておりますが、昨年の1月から3月には2回目のまん延防止等重点措置が発出され、12月に新たな変異株であるケルベロス株が国内で発見される等、更なる長期化も懸念されることから、JFグループを通じて新たな経済対策の実施を国に対し強く要請しました。

我々漁青連としましても、全国組織である全国漁青連と情報共有を行い、JFグループが一丸となって、喫緊の課題である販売力の強化に取り組むとともに、会員の柔軟な発想と若い力を集結して、活動内容をより一層活性化させ、組織強化に努めて参りますので、引き続き皆様方のご指導、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びになりますが、皆様方のご健康と航海安全並びに大漁を御祈願し、私の挨拶とさせていただきます。